

カリキュラム 区分		授業 科目	リハビリテーション技術論 Rehabilitation			担当 教員	備酒 伸彦 (非常勤)
開講年次	2年次後期	単位数	1単位	科目 分類	看護学の基盤となる科目II	授業形態	講義
選択必修	必修	時間数	15時間			使用教室	
授業の目的及びねらい							
<p>主に高齢者リハビリテーションの立場から、リハビリテーションは疾病・障害回復の手段にとどまるものではなく、総合的な取り組みであることを教授する。 人が暮らすことを支援するためには、①広い概念と、②専門的技術とそれを実際に適応する技術、③チームワークが重要であることを具体的に示し、リハビリテーションに携わる者としての意識づけを行う。また、リハビリテーションに係る問題抽出能力・解決能力を醸成する。</p>							
授業のキーワード							
リハビリテーション、疾病と障害、生活支援							
講義回数	授業内容及び計画						
1回	リハビリテーションの考え方						
2回	障害者像、高齢者像の整理						
3回	リハビリテーションの実践① 疾患・障害別リハビリテーションの概要						
4回	リハビリテーションの実践② 高齢者のリハビリテーション						
5回	リハビリテーションの実践③ 高齢者への生活支援						
6回	リハビリテーションの実践④ 広い概念の獲得						
7回	リハビリテーションに係る問題解決						
8回	まとめ						
テキスト	高齢者リハビリテーションと介護 ～決定の自立を支える100のヒント～						
参考文献	講義中に適宜指示する						
成績評価の方法と基準	出席30%、講義中に課すレポート30%、試験40%						
教員から学生へのメッセージ	<p>狭義のリハビリテーション（機能回復・獲得の手技）については看護リハビリテーションの専門に任せることとし、本論では広義のリハビリテーションについて、主に高齢者の生活支援に焦点を当てて解説します。 考える力を醸成することも本論の大きな目的であるので、学生諸君の積極的な参加を期待します。</p>						